

平成21年12月25日

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 つくば市立並木小学校 担当教諭名 三浦清香

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成21年12月 8日(火) 9:00 ~ 12:30
対象学年と人数	1~4年
派遣講師名と出身国	パーコフィ エイクス ガーナ出身 各国事情紹介講師
活動の内容	<ul style="list-style-type: none">・ガーナの子どもの生活,学校,遊びに関する話・ガーナの音楽・楽器体験・児童からの歌
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none">・ガーナの子供達の話の聞いたときビックリしました。お母さんたちにさいしょは、教えてもらって4年生ぐらいになると自分でなんでもできるように教えてお母さんたちにあじみとかをしてもらって、全部できたらOKといってもらって終わりなので、すごいです。(2年生)・ガーナの子供達の話の聞いたとき、ガーナのこどもたちの遊び方が分かりました。たいこのリズムを交かんするのってけっこう楽しそうだな、と思いました。ガーナのたいこがたたきたかったです。のりのりになって、おどるのもけっこう楽しかったです。(2年生)・太鼓をたたいて、手がいたくなかったけど楽しかったです。リズムにのってたたいてしまいました。すごくおもしろくて、家に帰っておうちの人に話しました。(3年生)・いろいろな楽器を見せてもらったり、楽しい歌を歌えて楽しかったです。ガーナの子どものことが分かりました。チキンのほねまで食べるとはじめて聞きました。・どんな人にも「お母さん」「お父さん」というのはびっくりしました。子供達はおそうじをしたり、料理をしたりすごいと思いました。(4年生)
先生の感想	<ul style="list-style-type: none">・ガーナの小学生の様子を知ることができ、学習の他にも大切な事がある事を、私達も学ぶことができました。・遊びの中でコミュニケーションを学ぶ事が、日本の子供達には欠けているが大切な経験であることがあらためて感じました。・リズムに乗って踊ることができて低学年児童にも良かった。前半の話は、児童と同じ学年のガーナの子供達の話が出てきて、熱心に話を聞いていました。・話の中で、「その家に伝わる太鼓のリズムを受け継ぐ。」という内容が印象的でした。音楽

は頭考えるのではなく、演奏者の息遣いでリズムを取って表現し、楽しむことが分かりました。それを児童に分かりやすく話して下さり、楽器演奏を体験できたことが良かったです。

以前、国際理解教育研修でガーナ出身のパーコフィさんのお話聞く機会があった。大変良い内容だったので、ぜひ本校の児童にも聞かせたいという思いがあり講師を依頼した。パーコフィさんは仕事が忙しい中、打ち合わせ時間の確保や当日の日程調整をして頂き、大変ありがたかった。

打ち合わせでは紹介ビデオを撮影させて頂き、各クラスで見た。また、パーコフィさんの出身部

族のアカン語を教えていただき、児童は挨拶を練習した。当日、パーコフィさんが校舎内を歩い

ていた時、1年生の児童が初対面にも関わらず、「ママモアチ(おはよう)」と自然に挨拶をしていと

いう、話が聞かれた。

